

緊急時の児童の保護者への引渡し(下校・帰宅方法)

台風・積雪・吹雪

災害発生

状況の確認(校長)

- ・風雨の強さ
- ・積雪の状況
- ・風雪の状況

テレビ・ラジオから今後の気象に関する情報を収集する。

対応の決定 (校長・教頭・生徒指導主事)

集団下校

1. 保護者にメール配信し、集団下校の周知を図る。
 - ・メール登録していない方には直接電話する(教頭)
 - ・学童保育「かもめ」への連絡
2. 集団下校の集合 (集団下校担当者)

学校待機

気象状況の変化を確認後、
集団下校

緊急時引渡しカードにより保護者に
児童を引渡

※学校からのメール配信を中心にして、各地

地震・津波

地震発生

状況の確認(全職員)
・児童の安全

情報の収集(校長・教頭)
・テレビ・ラジオから今後の地震に関する情報を収集する。
・緊急告知放送

校舎の状況確認
↓
運動場に避難
↓
津波の可能性
↓
安全確認し屋上へ
二次非難

☆ 引渡しは、台風・積雪・吹雪時に準じる
* 被害状況によっては、安全確保できない場合は、迎えに来た保護者も、児童とともに学校で待機・避難する

津波警報

津波警報解除

☆津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報

①児童の屋上への避難を指示する。(校長)

☆保護者に津波情報をメール配信する。メール登録していない方には直接電話する(教頭)

①児童の下校は、津波注意報解除後に行う。

②津波注意報解除後、保護者の学校への迎えを要請する。

③児童関係者の迎えがあるまで、児童は学校待機とする。